

# 株式会社高橋林業はおかげさまで 創業20周年を迎えました。



しあわせ  
幸福は緑の山と青い水

\*参考資料: 平成29年度林野庁「森林・林業白書」



被害により樹皮が剥がれたスギの木を伐採している様子

1980年のピーク時、産出額約1兆2千億円、従事者約14万人だった林業は、この40年間で3分の1以下に減少、手入れの行き届かない森林の荒廃が進む中で、(株)高橋林業の高橋代表は後継者を育て、山を救うことに力を注ぎ、成果を出していました。

「精英樹(エリート)」から種を採取し、育てた苗を1haに3000本植え、下刈、除伐、枝打ち、間伐などの保育作業を実施しながら成長や形状の良い木を残して育てるのが現場の仕事ですが、そのための進歩管理や出来型管理も出来るように教育もしています。職人につきものの3Kのイメージを払拭したいとの思いからです」。

林業が、人類や国民にとってこれまで重要な仕事かは言うまでもありませんが、それを担う職人は年々減少傾向があり、国内の林業従事者の平均年齢も52・4歳と高年齢化が進んでいます。しかし、高橋林業では20~30代が中心で、業界のイメージとは少し異なり若年層の取り込みに成功しています。人材育成として重視しているのが、林業技士や流域森林管理士などの資格取得、技術と知識の向上を含め、森林と社会をつなぐ活動を行っています。

「資格取得にはコストがかかりますが、林野庁の『緑の雇用』事業をフル活用して社員に給料が下がっては意味がないので、月給制にて諸手当の充実をばかり、仕事とスキル向上に専念できるようになります。また資格や研修を受けることにより、以前より事故や災害が確実に減少しています」。

ほかにも福利厚生の充実など、これまでの林業のイメージを刷新する会社運営に努めています。もっと夢のある仕事にして、他業種の会社を超えるような労働環境にしていきたいというのが高橋代表の思いです。山と共に歩んで満20周年を迎えた(株)高橋林業。環境保全、防災に貢献する林業を発展させるために必要な若い力に向ける眼差しは、やさしい。



株式会社高橋林業  
代表取締役  
**高橋 正二**

山梨県庁で30年間、林道の設計や測量に従事する。退職し、帰郷した後は、森林組合の参事を2年間務めて、林業への知識を深める。49歳で起業してからは、自身の豊富な経験をもとに樹を築くいっぽう、スタッフ育成にも注力。業界でも類を見ない教育サポートと、モチベーションアップのための手厚い福利厚生など、従来の林業へのイメージを刷新する社内環境づくりを行っている。

**株式会社高橋林業**  
〒252-0186 神奈川県相模原市緑区牧野8772

お問い合わせ

**TEL 042-689-2848 FAX 042-684-9610**  
**携帯 090-8646-5897**

株式会社高橋林業 検索 [www.takahashi-forestry.com](http://www.takahashi-forestry.com)

## 緑の山々が多くの人々の 豊かな未来生活を創造します

### 森林を守り育て 未来につなげる仕事

日本は、世界でも有数の森林国です。自然豊かな環境の下、スギ、ヒノキなどの針葉樹を植栽し、育て、生活に役立てきました。手入れが行き届いた森林はきれいな水や空気を作り出し、動植物の生態系も守られ、人々に潤いを与えてくれています。樹木が二酸化炭素を吸収し、酸素を作り、水を供給すること、地球温暖化防止や土砂災害防止など、国土の保全にも大きく貢献しています。



左から高橋研吾(長男)、代表 高橋正二、高橋零央(孫)、従業員 鈴木、従業員 國方

### 日本の大切な森林 多種多様な「保安林」機能

日本では、昔から大切に守られてきた森林を法律で「保安林」と定め、勝手に樹木を伐採したり、道路を作るなどの行為を禁じています。保安林の種類は多種多様で、農林水産大臣が指定するものだけでも17種類があります。その保安林の役割として挙げられるのが水資源なのです。地層に浸透した雨水を蓄える「水源涵養林」として、「土砂流出防備林」は水害や土砂崩れなどの被災の防止という役割をしています。この「水源涵養林」と「土砂流出防備林」を合わせると、保安林全体の約9割を占めます。なので豪雨災害などが頻発している今だからこそ、保安林の重要性を見直さなくてはなりません。そして、森林を開発の名のもとに乱伐したり、整備を怠るところはあってはならないのです。

ほかにも風を防ぐ「防風林」や「なだれ防止林」などもありますが、あまり知られていない保安林もご紹介します。魚の繁殖を促す「魚つき保安林」と、飛行機や船舶がその森林を目指して港の位置を正確に把握するための「航路標示保安林・景観維持のために保護される風致保安林」などもあります。保安林の機能にして、私たちの生活が森林に支えられていることがわかります。



## 「全部、山が教えてくれた」

著・**高橋 正二**

株式会社高橋林業  
代表取締役

- 第一章 森林の本当の価値について
- 第二章 高学歴を持った人が就職してくれるような林業に
- 第三章 山で働くということ
- 第四章 山の楽しみ方について
- 第五章 樹木の有効活用 (特用樹・薬用樹) について



- 第六章 山の年中行事
- 第七章 林業の未来と森林環境税
- インタビュー 林業再生への道とは

単行本用の原稿、原稿データが入ったCD-ROMのどちらか一つ又は両方を希望者に差し上げます。ご希望の方は、下記TEL・FAX又は携帯へ①郵便番号②住所③氏名④原稿希望の旨をお伝えください。(担当/高橋まで)

TEL お問い合わせ	<b>042-689-2848</b>
	<b>042-689-2822</b>
	<b>FAX 042-684-9610</b>
	<b>携帯 090-8646-5897</b>

※お預かりした個人情報は本件以外の目的で使用することはありません。